

北陸大学医療保健学部医療技術学科

油 野 友 二*

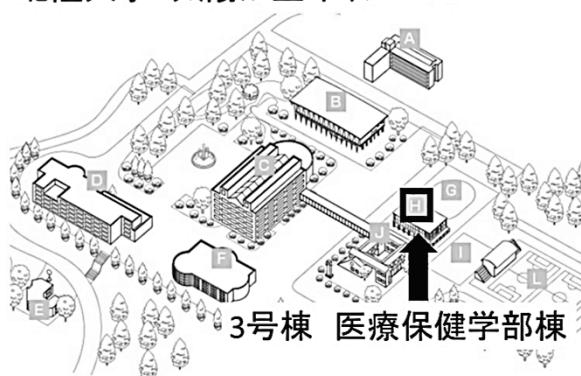
はじめに

北陸大学は石川県金沢市の郊外に位置し、「自然を愛し 生命を尊び 真理を究める人間の形成」を建学の精神として、2025年度の創立50周年に向けて「変革」の歩みを続けています。少子高齢化社会、グローバル社会、格差社会。時代を読み解くキーワードはさまざまですが、大学はその社会に対応し、ときに先導し、貢献することが大切です。北陸大学はいま、“学生の成長力ナンバーワン”という目標にむかって、変革に挑んでいます。北陸大学での学びを通して、学生が「21世紀を生き抜くチカラ。」を身につけることをキーワードとしています。

I. 沿 革

1975年4月に薬学部だけをもつ単科大学として開学、1979年に大学院薬学研究科、1987年に外国語学部、1992年に法学部を開設しました。2004年には外国語学部および法学部を改組して未来創造学部が開設され、2006年に薬学部が4年制から6年制に移行。2017年に未来創造学部が経済経営学部と国際コミュニケーション学部に変更されるとともに本学科の医療保健学部(1学年定員60名)を新設しました。現在、薬学部、医療保健学部、経済経営学部、国際コミュニケーション学部の4学部4学科体制です(写真1)。

北陸大学 太陽が丘キャンパス



臨床検査技師、臨床工学技士育成のための学習環境が充実。6つの実習室、臨床現場に即した環境で実践的に学ぶことができます。

写真1



*北陸大学医療保健学部医療技術学科 t-yuno@hokuriku-u.ac.jp

II. 医療保健学部教育理念

本学部は「生命を尊び、医療の進歩に対応して、臨床検査学・臨床工学分野から人々の健康に寄与する」を教育理念として、医療人としての倫理観、使命感、責任感及び臨床検査学、臨床工学の知識・技能を身につけ、日々進歩し続ける医療機器、医療技術の変化に対応し、チーム医療に積極的に関わることでできる医療技術者の養成に取り組んでいます。

III. 入学者受入れの方針

(アドミッション・ポリシー: AP)

教育理念に基づき、以下のような資質・能力・意欲を持った人を広く受け入れたいと考えています。

- ・医療の知識と技術を身につけるために必要な基礎学力を有している人
- ・人を思いやる心と協調性を持って取り組むことができる人
- ・物事を論理的かつ多面的に考察することができる人
- ・何事にも積極的に取り組むことができる人
- ・医療・保健に対する意欲や関心が高く、この分野に貢献したいという熱意のある人
- ・自らの考えを明確に伝えることができる人

IV. 卒業認定・学位授与の方針

(ディプロマ・ポリシー: DP)

本学部は人材養成の目的に沿って、以下の要件を満たし、所定の単位を修得した者に、学士(医療技術学)の学位を授与します。

1. 知識・理解

- ・医療技術者としての知識と技能を理解している。
- ・医療人としての倫理観、使命感、責任感と幅広い教養を身につけている。

2. 思考・判断

- ・医療技術者として、個々の事例に対して的確に判断ができる。

3. 関心・意欲

- ・日々進歩し続ける医療機器、医療技術の変化に

対応して、さらなる知識や技術を積極的に吸収することができる。

4. 態度

- ・医療技術者としての使命感や責任感を持ち、他者を思いやり協調して行動することができる。

5. 技能・表現

- ・修得した医療技術を安全に実施することができる。
- ・医療チームの一員としてコミュニケーション力が発揮できる。

V. 教育課程の特徴

A. 初年時教育

AO 入試や推薦入学などで早期に入学が決まった学生には高校の化学、生物、数学を予備校による Web 学習の機会を設け、1 回のスクーリングによる授業や面談により入学までの基礎力向上と生活習慣の維持に努めています。さらに入学直後のフレッシュマンセミナー、基礎ゼミナールⅠ・Ⅱと体系的に初年時教育プログラムを設置しています。特に基礎ゼミナールⅡでは「在宅医療に関わる臨床検査学・臨床工学」をテーマに、グループでの情報収集と分析、整理して集約し、最終的に学生一人づつが発表することで、協働しながら調査・解析・結論・発表という基礎力の向上と科学的根拠に基づいた問題解決能力を養い、生涯を通して学び続ける姿勢を身につけることを目指しています(写真 2)。

B. W ライセンスを目指す教育課程

教養教育、科学的思考の基礎、総合演習・社会医学、基礎医学、臨床病態医学、医用安全総合管理学、理工学、薬学、分析検査学、生体防御学、形態学、生理生体計測学の 12 の領域を設け、さらに専門基礎・専門科目のうち 40 科目を臨床検査学、臨床工学の共通科目として構成することで本学部の考える幅広い医療技術者の育成を行っています。また、学内実習では形態学、細菌・尿・などの検査方法を学ぶ「生体防御」、心臓・筋肉・脳などを観察・計測する「生体計測」、血液成分の分析などの「分析化学」、医療機器関連の電気について学ぶ「基礎工学」、医療機器の原理



写真2



写真3

や操作方法を学ぶ「臨床工学技術」の6分野の実習室を設け、最先端の実習設備で実践的に学べます(写真3)。

この教育課程は単に2つの資格取得のためではありません。超高齢社会による医療従事者の就業人口の減少が予測される中、医療現場では1人で踏み込んだ業務を担える人材がこれから求められ、同時に質と安全という2つの視点で従来の業務に“+α”の視点を持つことで、あらゆる場面で専門

性を発揮し、医療安全上のリスクの早期発見や質の高い医療に繋がるとの思いからです。また、チーム医療で各専門スタッフと連携した医療において幅広い知識を持つことは、相互理解を深め、効率的な医療の実践に結びつけることができると考えています。臨床工学の知識を持った臨床検査技師、臨床検査の知識を持った臨床工学技士が新たな医療スタッフとして活躍する姿を想像してみてください。

C. 海外研修

本学の海外研修プログラム「平成遣中使・医療漢方班」や学外のプログラムに2018年度は8名が参加、2019年度からは「平成遣中使・医療漢方班」JASSOの採択プログラムとなり、より多くの学生の海外研修が可能となる予定です。また、本学には中国以外にアメリカ、イギリス、スペイン、オーストラリア、カンボジアなど海外に多くの姉妹校・友好校があり今後は多様な海外研修を検討しています。

D. 地域連携授業

卒後教育への働きかけとして石川県臨床衛生検査技師会と連携し、北陸大学医療技術公開セミナーをすでに16回開催、さらに札幌、那覇でも各技師会との共催で同セミナーを5回開催しています。また、本学地域連携センターの「市民講座」では年10講座を本学科より行くとともに公民館や病院での健康フェアにも参加しています。

E. 課外活動

本学科の学生を中心に2018年4月に救護ボラ

ンティア団体「北陸大学学生赤十字奉仕団－MY START－」を結成し、現在24名が在籍している。活動は金沢マラソンなどのイベントでの救護支援、防災訓練の参加などがあります。

おわりに

本学部の教育過程を終えることで資格の垣根を越えて、自分の希望に沿った職種を選択することができ、また、自分の興味関心に合わせたステップアップの道も広がると考えています。最後に在校生のメッセージを1つ。

「臨床検査学と臨床工学の両方の知識と技術を身につけることで、私が地域の医療現場で先駆者になることも夢ではありません。今は、授業のこと以外でも経験豊富な先生たちと話をしながら、将来について考えを膨らませています。医療保健学部の先生は、実際に医療機関で活躍されてきた実績のある方ばかりなので、授業内容はもちろん、将来のことや勉強方法などを気軽に相談ができる環境にも満足しています。」